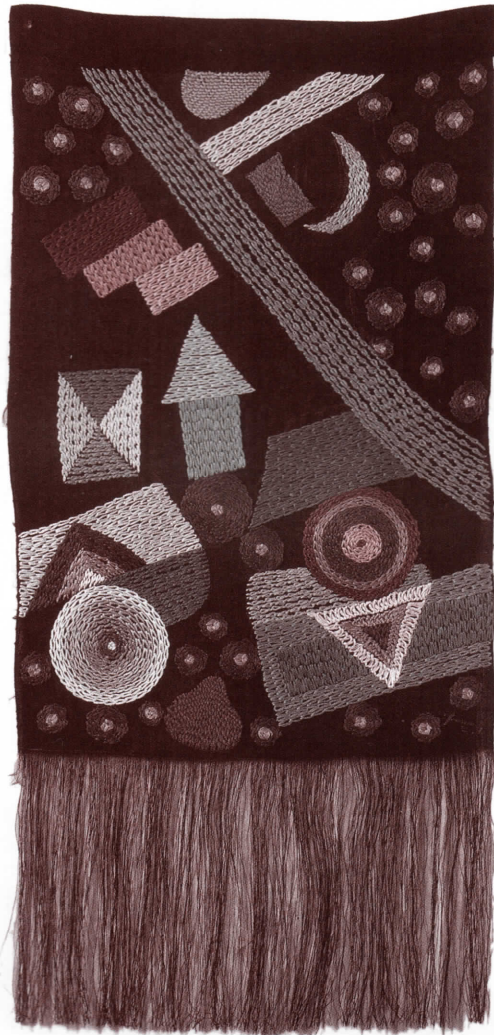


# りいぶる

No.56  
2012.12



「百華園」  
創作刺繍作家 高野澄子さん  
昭和 53 年秋作  
第 25 回文化協会総合美術展出品作品

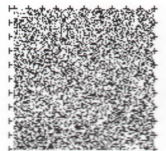
京都西本願寺の庭園「百華園」にある御成道(おなりみち)と呼ばれる庭園の敷石からインスピレーションを得た作品です。

## 目次

- ①② りいぶる★アイ「描こう、自分らしい未来<sup>あした</sup>—思いをカタチにする—」
  - ・りいぶるフェスタ 2012 戸田奈津子さん公開講座&フェスタ Snap ♪
  - ・夢をかなえる大人の起業塾 2012
- ③ 講座レポート&イベント案内
- ④ 「元気な和歌山」地域連携支援事業
- ⑤ 地域のチカラ
- ⑥ “りいぶる” 図書室  
インフォメーション 青少年・男女共同参画課/和歌山労働局
- ⑦ “りいぶる” 相談室  
「男女でつくる元気な和歌山」ポスター最優秀賞受賞作品(平成 24 年度)

### ◆皆さんにうれしいお知らせです!!

今年 6 月 22 日、県女性センター(現男女共同参画センター)初代センター長宮崎恭子さんが、県内初となる「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞されました。  
詳しくは、「りいぶる」HPをご覧ください。





# あした 描こう、自分らしい未来 — 思いをカタチにする —

“自分らしく生きる”。そう聞くと、皆さんはどんなことを思い描きますか？ 様々なことがあっても、またいくつになっても“自分らしさ”を大切にしながら生きている人は輝いてみえます。

男性は仕事最優先がカッコイイ？ 女性のゴールは結婚？ イエイ工、社会にはもっと多様な生き方があっていいはず。自分らしく輝いている人から、そのヒントを学びたい！

そこで今回は、ヒントがいっぱいの戸田奈津子さんの講演レポートをお届けします。



りいぶるフェスタ 2012 公開講座  
**“好き”に生きる～字幕の中に人生～**  
 戸田 奈津子さん (映画字幕翻訳家)  
 11月17日(土) 和歌山ビッグホエール特設ステージ

長年、映画字幕翻訳家として活躍されている戸田さん。少女の頃は戦時中で物がなく、文化、娯楽に飢えている時代でした。終戦3年後に洋画が解禁となり、白いスクリーンに別世界が展開、豊かで綺麗なアメリカを見て戸田さんは映画の世界にのめり込みました。その後、中学生となり映画の世界で話されている英語(文字)に初めて出会います。

一番大きな力を発揮するのは『好き』という力、『好き』という気持ちは押さえられない。戸田さんの場合は『映画が好き』、それに関することは全部知りたいと大学も英文科に入り、映画館に入り浸る毎日を通しました。いざ就職となったとき、好きな『映画』と『英語』を生かすには字幕の仕事があることに気がつきました。しかし、当時はインターネットもなく、その仕事に就くためにどこに行き誰に聞けばよいかも分かりませんでした。また、字幕の仕事をしていたのは全て男性で、女子学生には狭き門どころか扉がどこにもない壁を前にしているような気持ちだったと言います。

働きながら10年が経ち、30歳を過ぎて映画会社で英文

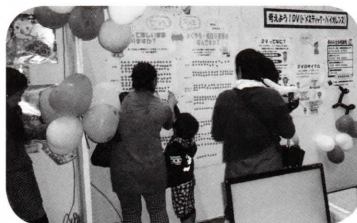
タイプの仕事に就いたある日、戸田さんは来日する映画俳優の通訳を頼まれました。英語は勉強していたけれど、英語で会話をしたことがなく断りましたが、断り切れず記者会見に同席したことがきっかけで字幕の世界に入ることになりました。通訳は上手にできなかったのですが、映画監督や映画の世界をよく知っていたことが道を開くことになったと話されました。「プロになるには、その分野での基本を学ぶことが大事で、プロとしての知識が求められる。世の中は甘くなく、自分の道を行くことは今も昔も大変だが、夢が叶わないと嘆くより、自信を持ってほしい。そして、自分の力で勝負すること、自分の中のクリエイティブな気持ちを持って挑めば、夢を実現することは可能です」と述べられ、『好き』を貫いてきた人生を語る戸田さんの表情は、自信に満ちた輝きを放っていました。

チャンスはいつ来るか分からないけれど、自分らしさと『好き』を大切に生きることが扉を開ける力になると話す戸田さんに、満員であられる会場は勇気をいただきました。



和歌山バトンエンジェルチームによる華麗なステージ！

## りいぶるフェスタ Snap♪

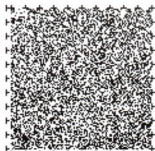


ブースでは、「育メン、家事アンケート」を実施



「男女でつくる元気な和歌山」ポスター表彰式  
 ※受賞作品・展示スケジュールは裏表紙に掲載

大勢の皆さまがご来場くださいました！  
 ありがとうございました(^o^)/



※今年も、ふれあい人権フェスタ 2012 (17・18日) と同時開催しました。

# “りいぶる”も応援します!! ～思いをカタチにするチカラ～ 夢をかなえる大人の起業塾 2012

10月14・21・28・11月4日(日) “りいぶる” 会議室A

講師：吉住 裕子さん(尙未来教育設計代表取締役)

起業に向けて、がんばる方へのステップアップセミナー。  
昨年同様、大好評でした!



昨年度に続いて、講師に吉住裕子さんを迎え、起業をめざす人をサポートするセミナーのステップアップ編を4週にわたり開催しました。昨年の受講生に加え新たに14人が参加、事業計画書を作成しその内容をプレゼンテーションしました。

講座は一日5時間とハードスケジュールのなかで、事業計画書やプレゼンテーション資料を書き上げる行程は、起業に必要なものを把握し自身の強みと弱みを知る貴重な機会となりました。最終日のプレゼンテーションでは、それぞれのモチベーションがアップ、お互いの情報交換にもつながったようでした。

受講生からは、「一歩前へ進めました」、「つながりを広げたい分野の方々とネットワークの場としても良かった」、「講師先生から様々なアイデアをいただいた」、「書くことによって、具体的にしなければならぬことが見えてきた」などの感想があり、一歩踏み出すための大きなきっかけとなったようです。

吉住さんは、起業のメリットについて「私は起業することによって、会社員時代とは次元の異なる『自分を鍛え、表現し、成長させる場』を得ました。大変なことはありませんが、自分で自分の人生をコントロールしながら、社会に必要とされる働き方・生き方が得られることはとても感動的であり、挑戦する価値は十分にあると思います」と語られ、受講生はチャレンジに向けて大きなエールをいただきました。



## 訪れた人が笑顔になれる町～みなべ町をビジネスモデルに～

湯川 央恵さん(みなべ山海川里魅力発見し隊協議会 紀州のおじいとおばあ 代表)

昨年のセミナー受講生にインタビューしました!

### みなべ町の良さを伝えたい! ～起業への挑戦～

奈良県から結婚を機にみなべ町に住むことになった央恵さんは、初めて食べた地元の干物と梅干しの美味しさに感動。「この美味しさを多くの人に知ってほしい!」それがきっかけでした。央恵さんの義父母、益至さんと幹子さんは、本業の釣具店の傍ら、地域のために様々な新しい事業にチャレンジしてきた人で、何度かその体験を聞いているうちに、「自分も一緒に二人の夢を叶えたい」と決意、地元産品での起業への挑戦が始まりました。

規格外で値がつかない新鮮な魚や価値が低いとされる大衆魚の加工商品、地元野菜や梅酢、備長炭などを使った新商品を開発・販売、また、味噌づくりをはじめ、干物や燻製が食べられる漁師カフェなど、体験型観光サービスを計画しました。その足がかりとして、「紀州のおじいとおばあブログ」を2年前から全国発信、義父母がパソコン相手に日々の出来

事や、地元の海・山の幸を使ったアイデア料理を方言で綴っています。



左から  
湯川央恵さん、  
幹子さん、  
益至さん

### 「夢をかなえる大人の起業塾」が転機に

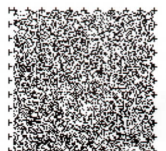
央恵さんが起業に向けて、事業計画に取り組んだものの断念したそんなとき、目にとまった“りいぶる”のセミナーを受講、吉住裕子さんの指導を受けながら、“吐くような”思いで事業計画書を1週間で書き上げました。ビジネスを見つめ直す機会と様々な人とのつながりを得た央恵さんは、「起業をやる前から諦めないで! 自分の感性とパッションを大事に」と話され、今も夢を形にするため進み続けています。

今年6月、「紀州のおじいとおばあブログ」オフ会は、NHKテレビの取材を受けました。「全国放送されたこのチャンスを活かして加工商品の販売などにつなげていきたい。ディズニーランドのように、訪れた人が笑顔になれる町、人を迎えるお年寄りも希望を持って生きられる町。そんなビジネスモデルをつくりたい。私がこの町に来た意味はこれを実現すること」と話す央恵さん。彼女の夢は、これから大輪の花となり地域にいっぱい広がることと思います。

詳しくはこちら [紀州のおじいとおばあ](#)

#### 取材後記

みなべ町の味を集めた絶品ぞろいの試作品は、商品化が待ち遠しいものばかり!  
央恵さんのこれからが一層楽しみです。



講座  
レポート

### ピンチはチャンス!

～ココロを軽く、自分らしく～

女性のためのストレスマネジメント講座  
がんばりすぎて悩めるあなたに  
「ココロを軽くするパッピーセミナー」

9月2日(日) “りいぶる”会議室A

講師：森崎 和代さん

(女性ライフサイクル研究所)



「からだがこわばると心がこわばり人間関係もこわばる。そしてストレスになる」と、講師は心とからだの密接な関係を説明、参加者はストレッチでからだをほぐしながら、

ストレスとの上手なつきあい方を学びました。

前半は、「笑えなくなる」「大声になる」など自分のストレスサインを知り、泣く・笑う・深呼吸をする・ストレッチをする・歌う・歩くなど、対処法をいくつも持つことがストレス解消の秘訣だと話されました。

後半は、一人ひとり価値観が違うことを知り相手を受け入れること、話すときは「私」を主語にして話すこと、誰かが「私を怒らせる」のではなく「私が怒っている」と捉えるなど自分の感情に責任を持つこと、そして、「ピンチはチャンス!」と何事も前向きに捉えるなど、より良いコミュニケーションを持つためのポイントを説明し、自分らしく生きることによって心軽くすることができると結ばれました。

「具体的な対処法を教えてもらえて良かった」「前向きに生活していきたいと思えた」「わかりやすかったし、ストレッチをしながらだとリラックスして聞くことができました」と参加者から好評を得た講座となりました。

### “いい夫婦”の秘けつ教えます!

#### 中高年夫婦のための“維新塾”

～共に依存しない生き方をめざして～

11月11日(日) “りいぶる”会議室A

講師：石蔵 文信さん

(大阪大学大学院  
医学系研究科准教授)



男性更年期外来で医師として診療を行う傍ら、男性の料理教室も行っている講師。

笑いをまじえ日本の平均的な夫婦が抱える不満や悩みを解説されました。男性はメンツとプライドにこだわるが、目標がなくなると意外と弱く、定年後に話し相手や居場所がなくなり妻と一緒に行動することから『わしも族』『おまえも族』といわれています。妻に依存する男性の熟年離婚の原因は、「家事を手伝わない」「会話がない」「上から目線で家政婦扱いをする」といった妻からの不満の積み重ねが多いと話されました。

お互いが元気に過ごすためには、自分の身の回りのことは自分でする、特に男性にとって料理は大切で、土鍋ひとつでできる簡単レシピを紹介しました。また、円滑な夫婦生活の秘けつは、「妻を名前前で呼ぶ、『ありがとう、ごめんなさい、愛している』の言葉をかける、誕生日・結婚記念日は忘れず花束を贈る」と男性陣を激励しました。

今回、ご夫婦では7組の参加があり、「自分が家庭の決定権を持っていると思っていましたが、間違いに気づきました(男性)」「我が家ももうすぐ夫が退職、参考になりました。夫に聞いてほしかったです(女性)」など、「いい夫婦の日」を前にお互いの関係を改めて考える講座となりました。

詳しくは“りいぶる”HPをご覧ください。



“りいぶる”シアター

#### 『幸せになるための恋のレシピ』

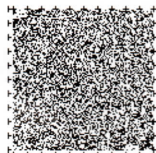
(2007・フランス)

日時：12月22日(土) 13:30～16:00

場所：“りいぶる”会議室A

主演は『アメリカ』で一躍有名となったオドレイ・トトウ。日本未公開のラブ・ストーリーです。上映後、女性限定でお茶を飲みながら交流を行います。“プチ女子会”しませんか。

参加者には、“りいぶる”特製『幸せ★レシピ』をプレゼント!



イベントの  
お知らせ

公開セミナーin有田市

#### 錆びない生き方

～プラチナ世代も自分らしく生きる～

日時：2月17日(日) 13:30～15:30

場所：有田市文化福祉センター

(有田市箕島27)

講師：坂東 眞理子さん

(昭和女子大学学長)



ミリオンセラー『女性の品格』

の著者、坂東眞理子さん。い

つまでも錆びない、自分らしい生き方についての講演です。

ご参加、お待ちしております!

# 「元気な和歌山」地域連携支援事業

一人ひとりが個性と能力を十分に発揮する「元気な和歌山」を実現するため、県内のNPOなど地域活動団体と市町村との協働事業を募集し、7つの事業が決まりました。

今回は、DVと防災をテーマに実施した2つの事業をご紹介します。

## 人はなぜ人に暴力をふるうのか？

日時：10月21日（日）  
場所：新宮市福祉センター  
講師：早稲田 恵子さん（和歌山市人権同和施策課指導員）  
実施団体：ウィメンスタディズ熊野



長年、人権相談に関わる講師は、「ありがとうの反対は当たり前」から始めました。自分中心では何でも「当たり前」となり、家族でも日々ありがとうと言える関係がほしいと話されました。「暴力は人権を侵す最大の問題。DVは加害者が問題で、被害者が変われば良くなることではない」と、相手を支配しようと暴力を選択する大人について解説。社会には男女で役割を決めてしまう固定観念や偏見が多く、DVの要因の1つとなっているため男女対等（gender equality）の視点や多様性を認めることが必要と話されました。

また、DV被害者には生きる力を奪われ孤立させられ自身では問題に気づけない人が多く、周りから声をかけることや、一人ひとりが「暴力は何があっても許してはいけない」という認識を持つことが重要と述べられました。

終盤は事例をもとに意見交換を行い、支援に向けた真剣な思いが会場一杯に広がりました。



## そのとき！あなたはどうしますか？ 防災に女性の力を！

日時：11月11日（日）  
場所：串本町文化センター  
内容：串本町防災担当による講演とワークショップ  
実施団体：つばさの会・和歌山



前半は、東日本大震災における『釜石の奇跡』のDVDを見たのち、串本町防災担当から町の防災対策について説明されました。避難路の整備、耐震工事補助制度などを紹介、担当者は「まず『自分が逃げる』ことが最優先。想定を信じるな。状況下で最善をつくすことが大切」と避難の3原則を話され、一人ひとりが危機意識を持ち行動する重要性を話されました。

後半は、グループに分かれ「災害時・避難時の不安」「地域での取組」「普段の生活での備えや非常持ち出し品」などについて話し合いました。参加者からは「女性の視点から乳幼児のケアやトイレの配慮が必要。普段から訓練をおし地域の防災力を高める」などの意見が出されました。

会場では、東日本大震災の写真や持ち出し品の展示、簡易トイレや問仕切りを設置した避難所体験、非常食の試食等も行なわれ、参加者一人ひとりが防災意識を新たにしました。



## これからのスケジュール

### 平成25年 1・17 阪神淡路大震災からの教訓

日時：1月17日（木） 子どもの部 9：30～11：30  
大人の部 13：30～15：30

場所：子どもの部 和歌山ビッグ愛1階展示ホール  
大人の部 和歌山市男女共生推進センター6階ホール  
内容：子ども向け防災体験プログラムと東日本大震災の体験談  
実施団体：NPO 震災から命を守る会

### シンポジウム「男の出番をつくるために」

日時：1月20日（日） 13：30～15：45

場所：“りいぶる”会議室A  
内容：基調講演とパネルディスカッション  
講師：宮崎 恭子さん（県女性センター初代所長）  
コーディネーター：小原 智津さん  
パネリスト：志場 久起さん 鳥淵 朋子さん 吉川 裕彰さん  
実施団体：男の出番をつくる会

### 子どもや孫といっしょに“読み聞かせ”を楽しもう

日時：1月20日（日） 13：30～15：00

場所：田辺市文化交流センターたなべる2階大会議室  
内容：絵本の読み聞かせや男女共同参画の視点での絵本選び  
講師：草谷 桂子さん（児童文学者、トモ工文庫主宰）  
実施団体：男女共同参画“レインボー”

### 地域づくりと男女共生（講演 & 落語・漫才）

日時：2月2日（土） 13：30～16：30

場所：“りいぶる”会議室A  
内容：講演や男女共生落語・漫才  
講師：春原 麻子さん（元色川百姓養成塾事務局）  
実施団体：わかやま楽落会

### ぬくもりのある家庭を築く

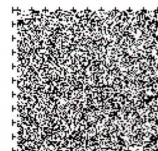
～子どもが子どもでいられるために～

日時：2月2日（土） 13：30～15：30

場所：広川町役場3階大会議室  
内容：子どもたちが家庭や学校、地域で安心して暮らすことの重要性を学ぶ  
講師：原田 薫さん  
(CAPセンタージャパン認定トレーナー)

実施団体：ハッピーママライフ

詳しい内容は、“りいぶる”HPや  
県市町村広報誌をご覧ください。



## 地域のチカラ



地域で自分らしく、イキイキと活動する人を紹介しています。

### もう一度、夢をかたちに～大水害をのりこえて～

熊野川産品加工組合 組合長 竹田 愛子さん（新宮市）

詳しくはこちら [熊野川 かあちゃんの店](#) [検索](#)

#### ふるさとの味を届けたい



竹田 愛子さん（右端）

竹田さんは、地域の女性たちと郷土料理や地元農産物や加工品を販売したいと、1995年から5年間に渡り熊野川沿いの屋台で日曜市を続け、2000年、加工組合設立の要望書を町に提出、運営組織「熊野川産品加工組合」ができました。翌年4月には物産販売所「かあちゃんの店」を開業、「忠度もち」(\*)や「めはり定食」「茶がゆ定食」など名物も定着、順調に運営していましたが、昨年9月の台風12号により熊野川が氾濫、川の水は国道を飲み込み、向かいの山のふもとまで達したそうです。竹田さんが店を見に行くと、家屋もすべて流されており、その様子に大きなショックを受けました。隣の道の駅と森林組合も跡形もなくなっていました。

※忠度もち：竹田さんたちが、昔から地元で食べられていた草もちを、熊野で生まれたとされる平家一門の武将で薩摩守、平忠度因で名づけた。

#### みんなの思いが実を結ぶ～近畿農政局賞を受賞～

店の再開が困難と思われるなか、スタッフの「もう一度やりたい」という言葉や大阪からのボランティア支援の申し出などから再開を決意、復旧に向けて動き出しました。そして今年7月28日、多くの人たちの思いがこもったお店が再開。入口にはボランティアが製作したオリジナルの看板が掛けられています。竹田さんは、「以前のように飲食スペースもつくり、『ふるさとの味』を味わってもらえるようにがんばっていきたい」と話されました。

再開3日後、これまでの活動が評価され、近畿農政局男女共同参画優良事例表彰(\*)で、加工組合が経営参画部門「近畿農政局賞」に選ばれました。組合員41人のうち女性が24人で、当初から女性スタッフの感性を活かした取組を行ってきたことから、9月の表彰式には、スタッフ全員で参加して取組を発表しました。「これまでの取組が認められたことは、大きな励みとなり、お店は私たちの生きがいで、地域の希望でもあります」と話されました。竹田さんの挑戦はこれからも続きます。

※近畿農政局男女共同参画優良事例表彰：2004年から男女共同参画の実現をめざして、経営参画や社会参画等の取組に顕著な功績のあった団体及び個人を表彰するとともに、その活動事例を広く紹介することにより、農村漁村における男女共同参画を推進するもの。

## アートで伝える多様性

アートユニット monkey 主宰 たあつこ=かおり（柴田香織）さん、柴田 <sup>まさる</sup>政治さん（橋本市）

詳しくはこちら [アートユニットモンキー](#) [検索](#)

“こどものためのアート/エ booka（ブウカ）オープン！”

#### お互いに自分を表現する生き方に

たあつこ=かおりさん、柴田政治さんご夫妻は作品から様々なメッセージを投げかけるコンセプチュアルアートの作品を発表しています。



結婚し神奈川県に住んでいた頃、かおりさんは仕事の傍ら絵本サークルで自作の絵本を発表していました。茅ヶ崎市女性センターで「自分らしく生きる」というタイトルに惹かれ女性学を学び、「ジェンダー」(\*)という言葉と出会い、多様性を意識し始めました。政治さんはシステムエンジニアとして働いていましたが、結婚1年半後、「ものづくりがしたい」と会社を辞め、半年間の主夫生活や木工の訓練校を経て2003年には、夫婦で“アートユニット monkey”を立ち上げました。

木工とクラフト作品の制作やワークショップを行っていましたが、2005年、工房スペースが広く自然いっぱいの環境に惹かれ、かおりさんの祖父母の地、橋本市に移住しました。

#### 家事も育児も夫婦で議論

「家事はやれる人がやれるときにやる」が夫婦の基本で、長女が誕生し保育園に入るまでは、お互いの仕事のバランスを考え家事と育児を分担。アートの仕事は自宅での作業が多く、夜中に仕事をするなどハードでしたが、今は育児も生活のサイクルに。「家事や育児の分担は女性だけが担うものではなく、夫婦間で議論することが大事」と二人は話します。

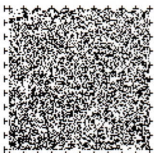
「作品を通してサラリーマン時代に感じたことのない達成感が得られる」と政治さん。「自分らしく生きるというメッセージを込めた絵本をつくりたい」とかおりさん。橋本市という地域に根をおろしアート作品を発表することで、「当たり前って何だろう」との問いかけや「多様性に気づこう」というメッセージを発信し続けています。



作品『Invisible World』  
先入観や偏見の意味を持つ“色めがね”をかけて読むと、内容が変化することで気づきを得る絵本。（たあつこさん作）

※ジェンダー：社会的・文化的に形成された性別のこと。

☆このコーナーで取り上げた方の詳しい活動内容や、アートユニット monkey の作品は“りいびる”HPで紹介しています。



## “りいぶる” 図書室

保育つき“読書の時間”  
開催レポート

9月の開催は、大好評でキャンセル待ちが続出。  
11月16日(金)には、内容を充実し、保育つき“読書の時間”+ (ぶらす) として開催しました。



ママはゆつたり  
読書タイム

お子さんは  
保育ルームで元気!



この模様は  
NHKでも紹介  
されました!

## 保育つき“読書の時間” もどうぞ!

12月14日(金)、3月1日(金)  
※ともに10:00~12:00  
定員は10組程度。

お問合せ、お申込みは“りいぶる”まで。

親子で楽しむ読み聞かせ  
“りいぶる”絵本の広場も  
あります!

12月8日(土)  
14:00~14:40

## 保育つき“読書の時間”+ (ぶらす) は…

12月21日(金)、2月8日(金)、  
3月8日(金)にあります!  
※ともに10:00~12:00  
定員10組

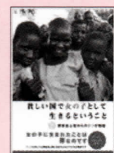
そして!!!

1月25日(金)は30組!  
時間は13:00~15:00

※申込先は、NPO法人和歌山eかんばにになります。詳しくは“りいぶる”まで。

## 図書・DVDのご紹介

### 『貧しい国で女の子として生きるということ』 開発途上国からの5つの物語



编者・発行社:  
遊タイム出版

「貧しい国に女の子として生まれるということ、それは過酷な毎日へのチャレンジ」。このように過酷な状況を生きる5人の女の子の物語が、途上国各国の女の子の写真とともに紹介されている。

女の子の誕生を喜ぶようになった日本との差は一体何なのだろう。開発途上国の現実を知り、私たちにできることは何かを考える機会となる1冊。

### 『いくつもの壁にぶつかりながら』 19歳、児童買春撲滅への挑戦



著者: 村田 早耶香  
出版社: PHP研究所

「児童買春をなくすためには、その根本にある貧困の問題を解決すること」。カンボジアで児童買春被害にあった子どもを対象としたパソコン教室の立ち上げや、貧困にあえぐ農村でいぐさ織りのコミュニティーファクトリーをスタートさせた著者の社会起業体験記。

児童買春の現実とミッションにかける熱い意志が、平坦ではないけれど徐々に社会を動かしていく。ビジネスと社会貢献は両立するということや、あきらめなければ夢に近づくというメッセージが清々しい。

### 『うさぎドロップ』

DVD



2011年公開  
監督: SABU  
主演: 松山 ケンイチ

普通のサラリーマンのダイキチが、亡くなった祖父の隠し子、6歳のりんを育てることに…。

親族でりんを誰が引きとるか話し合った席で、ダイキチの母は言う。「今まで私がどれだけ自分を犠牲にして(子育てをして)きたか、何も知らないくせに」。この言葉がダイキチの心に突き刺さる。

男性が子育てをすること、女性が仕事を持つこと、それぞれ与えられた環境の中でそれらをどう捉えるかを考えさせられる。そして、心も温かくなる作品だ。

『貧しい国で…』は売り上げのうち15円が「途上国の女の子に笑顔を! Because I am a Girl キャンペーン」を支援する活動に、『いくつもの…』の印税はすべて「児童買春問題解決」のために使われます。

## 青少年・男女共同参画課インフォメーション

男女共同参画推進事業者を  
登録しました

## ◆和歌山労働局 からのお知らせ◆

『必ずチェック 最低賃金!  
使用者も労働者も!』

平成24年10月1日  
から、和歌山県最低賃金  
は、**時間額690円**とな  
りました。

詳しいことは、和歌山  
労働局賃金室(073-  
488-1152)、または  
最寄りの労働基準監督署  
へお問い合わせください。

会社名 医療法人 恵友会 恵友病院 (登録番号 男女第55号) 平成24年7月12日登録

所在地 海南市 業種 医療 H P <http://www.keiyukai.com/main/index.html>

- 看護師資格取得希望者に対し、授業料全額を奨学金として支給、資格取得を支援
- 育児・介護休業制度を整備するとともに、休暇制度等を一覧できるポスターを作成、掲示し職員に周知
- 夜勤に対応した託児所を近隣に設置し、働きやすい職場づくりを推進
- 多様な勤務形態の導入(育児短時間常勤、夜勤専従、夜勤パート)
- 管理職を窓口とするセクハラ対策の体制を構築 など

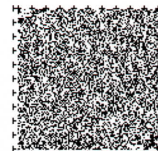
県では、男女が共に安心して生き生きと働くことができる職場・環境づくりに  
取り組んでいる事業者の皆さんを登録し、その活動を応援しています!  
次のような取組が登録の対象になります。

- 女性が能力を発揮しやすくするための取組
- 仕事と生活の調和推進のための取組
- セクシャル・ハラスメント防止のための取組 など

申請・お問い合わせは県庁青少年・男女共同参画課まで。申請は随時受け付けています。  
TEL 073-441-2510 FAX 073-441-2501 e-mail: e0314001@pref.wakayama.lg.jp  
※詳しくは、ホームページでご覧になれます。 [和歌山県男女共同参画](#) [検索](#)

### 県の目標

24年7月現在での  
登録事業者数は52で  
す。県では28年度末  
までに80事業者をめ  
ざして登録を推進し  
ています。



# “りいぶる” 相談室

相談受付専用ダイヤル **073(435)5246**

相談料は無料。専門の相談員がお話をおうかがいします。秘密厳守です。ナンバーディスプレイは使用していません。

## 総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に、女性相談員が応じます。

### 電話相談

火水木金土 9:00 ~ 20:30  
(受付は 20:00 まで)

日 9:00 ~ 17:00  
(受付は 16:30 まで)

### 面接相談 (予約制・女性のみ)

火水木金土 9:00 ~ 17:30  
(受付は 16:30 まで)

日 9:00 ~ 16:00  
(受付は 15:00 まで)

## 女性のためのカウンセリング

女性が抱えるこころの問題に、女性カウンセラーが応じます。

### 面接相談または電話相談

金 13:00 ~ 16:40  
※ 第 5 週は除く。

予約制、各日 4 人まで。  
相談時間は 1 人 40 分。

## 女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に、女性弁護士が応じます。

### 面接相談のみ

月 4 回 13:00 ~ 14:50

※日程は“りいぶる”までご確認ください。

予約制、各日 3 人まで。  
相談時間は 1 人 30 分。

## 男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に男性相談員が応じます。

水 16:30 ~ 20:30 ※ 毎月第 2 水曜日

予約優先 (匿名可) 相談時間は 1 人 50 分程度

## 「男女でつくる

元気な和歌山」ポスター  
最優秀賞受賞作品 (平成 24 年度)



くすもとさちほ  
楠本幸穂さん  
(和歌山市立西和佐小学校 1 年)



まつみ りく  
松尾 陸さん  
(和歌山市立宮北小学校 6 年)



さひま ゆい  
榎 由衣さん  
(和歌山県立向陽中学校 1 年)



なんごう あゆみ  
南郷 歩美さん  
(和歌山市立和歌山高等学校 2 年)

応募のあった全作品は、和歌山バス株式会社のご協力を得て展示します。  
展示期間：平成 24 年 12 月 11 日 ~ 平成 25 年 8 月 12 日  
※走行路線は日によって異なります。詳しくは和歌山バス株式会社へお問い合わせください。  
TEL 073-431-8751



## ◆発行 和歌山県男女共同参画センター

# “りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平 2 丁目 1-2  
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9 F

TEL (073) 435-5245  
FAX (073) 435-5247  
《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp  
開館時間 火曜～土曜：午前 9 時～午後 9 時  
日曜：午前 9 時～午後 5 時 30 分  
休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)  
年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)  
HP は “りいぶる” で検索してください。

りいぶる  検索

—企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山 e かんぱにい—